

幼児センターだより 心のまなざし 7月号

令和7年6月30日発行 認定こども園様似町立幼児センター

「地域とつながる」幼児センターの取組

幼児センター教育保育を進める上で大切にしたいことは、「地域とつながる」ことです。幼児センター教育保育目標達成のために必要な取組の一つとして「地域の人・物・環境を活用した郷土愛の醸成」を掲げております。乳幼児期の子どもたちは、五感を使って身の回りの環境とかかわり合う体験活動を通して健やかに成長していきます。しかし現代社会は五感のうち「視覚」「聴覚」だけに頼った学びの機会が増えているようです。幼児センターの子どもたちには視覚、聴覚に加え、「味覚」「嗅覚」「触覚」を含めた五感を十分に活用できる教育保育内容、体験活動を存分に味わってほしいと願い、地域の方、地域団体にご協力いただきながら教育保育の充実に努めております。6月は下記のように地域の皆様にご協力いただきました。



●ジオ学習～駒谷農場を見学しました●

町内新富にある駒谷農場の西川さんのご厚意により、農場を見学させていただきました。

大自然に囲まれた農場内では、ウシ、ヒツジ、ブタ、ニワトリなどたくさんの生き物が暮らしており、子どもたちは開放的な気持ちで愛情を持ってふれあうひと時を過ごしました。

また、当日の給食に手作りソーセージをご提供いただき、お腹いっぱい味わうことができました！

西川さん、ありがとうございました！

●いちご狩りを楽しみました●

町内田代、長田農園の長田哲典さんのご厚意により、いちご狩りをさせていただきました。

当日は晴天でハウスの中も気温が上がっていましたが、子どもたちは目の前の赤く実ったイチゴを夢中で摘んで味わい、楽しいひと時となりました。

長田さん、ありがとうございました！



職員研修に合わせて、園庭で使用するテーブルやベンチ、遊具収納棚をDIY作業で作成しました。作成にあたり、様似建成会の皆様に電動工具の使い方や作業の留意点を教えていただいたことで、職員も安全に楽しく作業を進めることができました。

幼児センターの教育保育目標

「自然と親しみ 意欲と思いやりのある子どもの育成」

～目標に向かって、6月はこんな教育保育を行いました～



●親子ピクニック●

3～5歳児クラスを対象とした親子ピクニックを、センター裏の川原で行いました。「釣り」「水の生き物探し」「ストーンペイント」を親子でのんびり楽しみました。

身近な自然の中でも、子どもたちが夢中になって遊び、五感で感じ取って楽しめるということを、改めて素敵なことだと実感しました。



●みらい塾●

生涯学習課体育係職員の協力の下、4、5歳児を対象とした運動遊びプログラム「みらい塾」を実施しました。6月のメニューは、「速く走るコツを学ぶ」ということで、足の速い体育係職員と競争したり、足の運びや腕の使い方などを教えてもらいました。

運動会では、学んだことを発揮して大活躍する子どもたちの姿が見られることでしょう！



●運動会練習、頑張っています！●

7月5日の運動会に向けて、各学年楽しく練習を行っています。練習するたびに、子どもたちの意欲が増して活気のある様子が見られました。

引き続き子どもたちが楽しんで取り組むことを大切にしながら、当日まで練習を頑張っていきたいです。



7月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 ☆運動会 総練習	2 ☆運動会総練 習予備日	3	4 ☆七夕会	5 ☆運動会
6	7 ・運動会振替 休園	8 ◇リトミック (4・5歳児)	9 ☆地域交流会	10 ☆避難訓練 (地震～津波)	11 ☆中学生職場 体験	12 ☆おひさま グループ休み
13	14	15 ◇リトミック (4・5歳児)	16 ◇みらい塾 (5歳児)	17 ◇みらい塾 (4歳児)	18	19 ☆おひさま グループ休み お弁当の日
20	21 ・海の日	22	23	24 ◇1学期終業式	25	26 ☆おひさま グループ休み
27	28	29	30	31 ◇小学生ふれ あい交流会		☆:全園児 ◇:3～5歳児 ◎:0～2歳児

～行事についてのお知らせ～

※9日(水)は地域交流会で、様似町ハーモニカサークル「青い春」の方々に演奏をしていただきます。

※10日(木)の避難訓練は、津波を想定した訓練を行います。岡田共立興産まで歩いて避難する訓練です。

※11日(金)は、様似中学校2年生3名が職場体験で子どもたちとふれあいます。

○年中作品展のお知らせ○

期間 7月16日(水)～8月3日(日)

場所 中央公民館ギャラリー

ぜひご覧ください。

○アポイの火まつりへのよさこい参加○

期日 8月2日(土) 13時～13時30分

会場 ふれあい広場ステージ

対象 4・5歳児

詳しい案内は後日配信します。

○実習生、元気に頑張りました○

6月16～27日の日程で専門学校生の佐藤風紗さんが5歳児きりん組で実習し、日々子どもたちと元気に交流し、学びを深めていました。当センターを卒園した佐藤さんが元気に実習する姿を、職員一同うれしく見守りました。



園長から保護者の皆さまへ～こどものいいところをどんどん見つけてください

・同年代の子どもと比較して、できないところばかりに目がいくことはありませんか？子どもの成長には個人差があります。小学生・中学生になったときに、オムツが早くはずれたとか、早く歩いたとか、早く字を覚えたとか、早くできたことがその後の成長にプラスに表れていることはないと思います。何でも1番にこだわるよりも、子どものやさしい気持ちをそだてるために子どもの気持ちに寄り添い、こどものいいところを認めてほめてあげることが何よりも大切だと感じています。